

別添1 (建設工事用記載例)

入札金額見積内訳書

工 事 名				左欄は必ず記入
工事場所				
入 札 参 加 者	所 在 地			左欄は必ず記入
	名称・商号			
	代表者名			
入札額の内訳				
直 接 工 事	費 目	数量単位	金 額 (円)	
	〇〇 工	1 式	1,000,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,100,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,200,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,300,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,400,000	左欄は必ず記入
計 (A)			6,000,000	自動計算
うち材料費		1 式	2,000,000	
うち労務費		1 式	4,000,000	
間 接 工 事 費	共通仮設費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
	現場管理費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
	うち法定福利費の事業主負担額	1 式	500,000	
	うち建退共制度の掛け金	1 式	500,000	
	計 (B)	1 式	3,000,000	自動計算
工事原価 (C=A+B)			9,000,000	自動計算
一般管理費等 (D)		1 式	2,000,900	左欄は必ず記入
工事価格 (E=C+D)			11,000,900	左欄は必ず記入
うち安全衛生経費		1 式	500,000	
入 札 額 (埼玉県電子入札共同システムへの入力金額)			11,000,000	左欄は必ず記入

工事価格と入札額が一致しない

⇒差異が端数処理の範囲内(ここでは千円未満とする。)であるため、有効とすることができる。
低入札価格調査においては、一般管理費等を調整(2,000,900⇒2,000,000)することにより、
工事価格を入札額に一致させた上で、数値的判断基準による判定を行う。

注1 入札参加者は、「左欄は必ず記入」となっている箇所に必要事項を記入してください。

注2 上記の入札額と埼玉県電子入札共同システムに入力した金額が異なる場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は無効となります。

注3 「左欄は必ず記入」となっている箇所が未記入の場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は原則無効となります。

別添1 (建設工事用記載例)

入札金額見積内訳書

工 事 名				左欄は必ず記入
工事場所				
入 札 参 加 者	所 在 地			左欄は必ず記入
	名称・商号			
	代表者名			
入札額の内訳				
直 接 工 事 費	費 目	数量単位	金 額 (円)	
	〇〇 工	1 式	1,000,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,100,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,200,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,300,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,400,000	左欄は必ず記入
	工事価格と入札額が一致しない ⇒直接工事費(内訳の合計)、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の合計が 入札額と一致しているため、有効とすることができる。			
	計 (A)		6,000,000	自動計算
	うち材料費	1 式	2,000,000	
	うち労務費	1 式	4,000,000	
間 接 工 事 費	共通仮設費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
	現場管理費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
	うち法定福利費の事業主負担額	1 式	500,000	
	うち建退共制度の掛け金	1 式	500,000	
	計 (B)	1 式	3,000,000	自動計算
工事原価 (C =A+B)		9,000,000	自動計算	
一般管理費等 (D)	1 式	2,000,000	左欄は必ず記入	
工事価格 (E= C+D)		11,150,000	左欄は必ず記入	
うち安全衛生経費	1 式	500,000		
入 札 額 (埼玉県電子入札共同システムへの入力金額)		11,000,000	左欄は必ず記入	

注1 入札参加者は、「左欄は必ず記入」となっている箇所に必要事項を記入してください。

注2 上記の入札額と埼玉県電子入札共同システムに入力した金額が異なる場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は無効となります。

注3 「左欄は必ず記入」となっている箇所が未記入の場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は原則無効となります。

別添1 (建設工事用記載例)

入札金額見積内訳書

工 事 名				左欄は必ず記入
工事場所				
入 札 参 加 者	所 在 地			左欄は必ず記入
	名称・商号			
	代表者名			
入札額の内訳				
直 接 工 事 費	費目	数量単位	金額 (円)	
	〇〇 工	1 式	1,000,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,100,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,200,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,300,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,400,000	左欄は必ず記入
	直接工事費の内訳の合計金額と直接工事費の計(A)が一致しない ⇒直接工事費の内訳の合計金額、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の合計が内訳書の入札額と一致しているため、有効とすることができる。 低入札価格調査においては、直接工事費の内訳の合計金額を直接工事費として扱う。 (直接工事費の計(A)は、「必ず記入」する欄ではないため、誤りがあつた場合でもそのことのみで無効にはならないが、計算ミス未然に防ぐため自動計算とする。)			
計 (A)			5,000,000	自動計算
うち材料費		1 式	2,000,000	
うち労務費		1 式	3,000,000	
間 接 工 事 費	共通仮設費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
	現場管理費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
	うち法定福利費の事業主負担額	1 式	500,000	
	うち建退共制度の掛け金	1 式	500,000	
	計 (B)	1 式	3,000,000	自動計算
工事原価 (C =A+B)			9,000,000	自動計算
一般管理費等 (D)		1 式	2,150,000	左欄は必ず記入
工事価格 (E= C+D)			11,150,000	左欄は必ず記入
うち安全衛生経費		1 式	500,000	
入 札 額 (埼玉県電子入札共同システムへの入力金額)			11,150,000	左欄は必ず記入

注1 入札参加者は、「左欄は必ず記入」となっている箇所に必要事項を記入してください。

注2 上記の入札額と埼玉県電子入札共同システムに入力した金額が異なる場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は無効となります。

注3 「左欄は必ず記入」となっている箇所が未記入の場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は原則無効となります。

別添1 (建設工事用記載例)

入札金額見積内訳書

工 事 名				左欄は必ず記入	
工事場所					
入 札 参 加 者	所 在 地			左欄は必ず記入	
	名称・商号				
	代表者名				
入札額の内訳					
直 接 工 事 費	費目	数量単位	金額 (円)		
	〇〇 工	1 式	1,000,000	左欄は必ず記入	
	〇〇 工	1 式	1,100,000	左欄は必ず記入	
	〇〇 工	1 式	1,200,000	左欄は必ず記入	
	〇〇 工	1 式	1,300,000	左欄は必ず記入	
	〇〇 工	1 式		左欄は必ず記入	
				必ず記入欄の一部が空欄 ⇒不備な内訳書に該当するため、無効となる。	
	計 (A)			6,000,000	自動計算
	うち材料費		1 式	3,000,000	
	うち労務費		1 式	3,000,000	
間 接 工 事 費	共通仮設費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入	
	現場管理費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入	
	うち法定福利費の事業主負担額	1 式	500,000		
	うち建退共制度の掛け金	1 式	500,000		
	計 (B)	1 式	3,000,000	自動計算	
工事原価 (C=A+B)			9,000,000	自動計算	
一般管理費等 (D)		1 式	2,150,000	左欄は必ず記入	
工事価格 (E=C+D)			11,150,000	左欄は必ず記入	
うち安全衛生経費		1 式	500,000		
入 札 額 (埼玉県電子入札共同システムへの入力金額)			11,150,000	左欄は必ず記入	

注1 入札参加者は、「左欄は必ず記入」となっている箇所に必要事項を記入してください。

注2 上記の入札額と埼玉県電子入札共同システムに入力した金額が異なる場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は無効となります。

注3 「左欄は必ず記入」となっている箇所が未記入の場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は原則無効となります。

別添1 (建設工事用記載例)

入札金額見積内訳書

工 事 名			左欄は必ず記入	
工事場所				
入 札 参 加 者	所 在 地		左欄は必ず記入	
	名称・商号			
	代表者名			
入札額の内訳				
直 接 工 事 費	費目	数量単位	金額 (円)	
	〇〇 工	1 式	1,000,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,100,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,200,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工 + 〇〇 工	1 式	2,700,000	左欄は必ず記入
直接工事費の内訳を入札参加者が削除した場合 ⇒「必ず記入」する欄を削除した場合は、必ず記入欄の一部が空欄と同様の取扱いとする。 (不備な内訳書に該当するため、無効となる)				
計 (A)			6,000,000	自動計算
うち材料費		1 式	3,000,000	
うち労務費		1 式	3,000,000	
間 接 工 事 費	共通仮設費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
	現場管理費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
	うち法定福利費の事業主負担額	1 式	500,000	
	うち建退共制度の掛け金	1 式	500,000	
	計 (B)	1 式	3,000,000	自動計算
工事原価 (C=A+B)			9,000,000	自動計算
一般管理費等 (D)		1 式	2,150,000	左欄は必ず記入
工事価格 (E=C+D)			11,150,000	左欄は必ず記入
うち安全衛生経費		1 式	500,000	
入 札 額 (埼玉県電子入札共同システムへの入力金額)			11,150,000	左欄は必ず記入

注1 入札参加者は、「左欄は必ず記入」となっている箇所に必要事項を記入してください。

注2 上記の入札額と埼玉県電子入札共同システムに入力した金額が異なる場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は無効となります。

注3 「左欄は必ず記入」となっている箇所が未記入の場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は原則無効となります。

別添1 (建設工事用記載例)

入札金額見積内訳書

工 事 名				左欄は必ず記入
工事場所				
入 札 参 加 者	所 在 地			左欄は必ず記入
	名称・商号			
	代表者名			
入札額の内訳				
直 接 工 事 費	費目	数量単位	金額 (円)	
	〇〇 工	1 式	1,000,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,100,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,200,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,300,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	400,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,000,000	
	直接工事費の内訳を入札参加者が追加した場合 ⇒追加した欄についても「必ず記入」する欄と同様の取扱いとする。 (直接工事費の内訳の合計金額と直接工事費の計(A)が一致しない場合はケース3、 工事価格と入札額が一致していない場合は、ケース1、2により判断する。)			
	計 (A)		6,000,000	自動計算
	うち材料費	1 式	3,000,000	
	うち労務費	1 式	3,000,000	
	間 接 工 事 費	共通仮設費	1 式	1,500,000
現場管理費		1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
うち法定福利費の事業主負担額		1 式	500,000	
うち建退共制度の掛け金		1 式	500,000	
計 (B)		1 式	3,000,000	自動計算
工事原価 (C =A+B)			9,000,000	自動計算
一般管理費等 (D)		1 式	2,150,000	左欄は必ず記入
工事価格 (E= C+D)			11,150,000	左欄は必ず記入
うち安全衛生経費		1 式	500,000	
入 札 額 (埼玉県電子入札共同システムへの入力金額)			11,150,000	左欄は必ず記入

注1 入札参加者は、「左欄は必ず記入」となっている箇所に必要事項を記入してください。

注2 上記の入札額と埼玉県電子入札共同システムに入力した金額が異なる場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は無効となります。

注3 「左欄は必ず記入」となっている箇所が未記入の場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は原則無効となります。

別添1 (建設工事用記載例)

入札金額見積内訳書

工 事 名				左欄は必ず記入				
工事場所								
入 札 参 加 者	所 在 地			左欄は必ず記入				
	名称・商号							
	代表者名							
入札額の内訳								
直 接 工 事 費	費目	数量単位	金額 (円)					
	〇〇 工	1 式	1,000,000	左欄は必ず記入				
	〇〇 工	1 式	1,100,000	左欄は必ず記入				
	〇〇 工	1 式	1,200,000	左欄は必ず記入				
	〇〇 工	1 式	1,300,000	左欄は必ず記入				
	〇〇 工	1 式	1,400,000	左欄は必ず記入				
	間接工事費の内訳の合計金額と間接工事費の計(B)が一致しない。 ⇒直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の合計が内訳書の 入札額と一致しているため、有効とすることができる。 (間接工事費(B)は、「必ず記入」する欄ではないため、誤りがあった場合でも そのことのみで無効にはならないが、計算ミス未然に防ぐため自動計算と する。)							
					計 (A)		6,000,000	自動計算
					うち材料費	1 式	3,000,000	
					うち労務費	1 式	3,000,000	
	間 接 工 事 費	共通仮設費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入			
		現場管理費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入			
		うち法定福利費の事業主負担額	1 式	500,000				
うち建退共制度の掛け金		1 式	500,000					
計 (B)		1 式	2,000,000	自動計算				
工事原価 (C =A+B)			9,000,000	自動計算				
一般管理費等 (D)		1 式	2,150,000	左欄は必ず記入				
工事価格 (E= C+D)			11,150,000	左欄は必ず記入				
うち安全衛生経費		1 式	500,000					
入 札 額 (埼玉県電子入札共同システムへの入力金額)			11,150,000	左欄は必ず記入				

注1 入札参加者は、「左欄は必ず記入」となっている箇所に必要事項を記入してください。

注2 上記の入札額と埼玉県電子入札共同システムに入力した金額が異なる場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は無効となります。

注3 「左欄は必ず記入」となっている箇所が未記入の場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は原則無効となります。

別添1 (建設工事用記載例)

入札金額見積内訳書

工 事 名				左欄は必ず記入				
工事場所								
入 札 参 加 者	所 在 地			左欄は必ず記入				
	名称・商号							
	代表者名							
入札額の内訳								
直 接 工 事 費	費目	数量単位	金額 (円)					
	〇〇 工	1 式	1,000,000	左欄は必ず記入				
	〇〇 工	1 式	1,100,000	左欄は必ず記入				
	〇〇 工	1 式	1,200,000	左欄は必ず記入				
	〇〇 工	1 式	1,300,000	左欄は必ず記入				
	〇〇 工	1 式	1,400,000	左欄は必ず記入				
	直接工事費と間接工事費の合計金額と工事原価(C)が一致しない。 ⇒ 直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の合計が内訳書 の入札額と一致しているため、有効とすることができる。 (工事原価(C)は、「必ず記入」する欄ではないため、誤りがあった場合でも そのことのみで無効にはならないが、計算ミスを未然に防ぐため自動計算 とする。)							
					計 (A)		6,000,000	自動計算
					うち材料費	1 式	3,000,000	
					うち労務費	1 式	3,000,000	
	間 接 工 事 費	共通仮設費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入			
現場管理費		1 式	1,500,000	左欄は必ず記入				
うち法定福利費の事業主負担額		1 式	500,000					
うち建退共制度の掛け金		1 式	500,000					
計 (B)		1 式	3,000,000	自動計算				
工事原価 (C = A + B)			8,000,000	自動計算				
一般管理費等 (D)		1 式	2,150,000	左欄は必ず記入				
工事価格 (E = C + D)			11,150,000	左欄は必ず記入				
うち安全衛生経費		1 式	500,000					
入 札 額 (埼玉県電子入札共同システムへの入力金額)			11,150,000	左欄は必ず記入				

注1 入札参加者は、「左欄は必ず記入」となっている箇所に必要事項を記入してください。

注2 上記の入札額と埼玉県電子入札共同システムに入力した金額が異なる場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は無効となります。

注3 「左欄は必ず記入」となっている箇所が未記入の場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は原則無効となります。

別添1 (建設工事用記載例)

入札金額見積内訳書

工 事 名				左欄は必ず記入	
工事場所					
入 札 参 加 者	所 在 地			左欄は必ず記入	
	名称・商号				
	代表者名				
入札額の内訳					
直 接 工 事 費	費目	数量単位	金額 (円)		
	〇〇 工	1 式	1,000,000	左欄は必ず記入	
	〇〇 工	1 式	1,100,000	左欄は必ず記入	
	〇〇 工	1 式	1,200,000	左欄は必ず記入	
	〇〇 工	1 式	1,300,000	左欄は必ず記入	
	〇〇 工	1 式	1,400,000	左欄は必ず記入	
	直接工事費、共有仮設費、現場管理費、一般管理費等の合計が工事価格及び入札額のいずれとも一致しない。 ⇒不備な内訳書に該当するため、無効となる。 (「必ず記入」する欄は、入札参加者が適切に算出した結果を記入する欄であり、発注者が一般管理費等の記入の誤りか、工事価格の記入の誤りか、判断できない。)				
	計 (A)		6,000,000	自動計算	
	うち材料費	1 式	3,000,000		
	うち労務費	1 式	3,000,000		
	間 接 工 事 費	共通仮設費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
		現場管理費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
うち法定福利費の事業主負担額		1 式	500,000		
うち建退共制度の掛け金		1 式	500,000		
計 (B)		1 式	3,000,000	自動計算	
工事原価 (C =A+B)			9,000,000	自動計算	
一般管理費等 (D)		1 式	2,000,000	左欄は必ず記入	
工事価格 (E= C+D)			11,150,000	左欄は必ず記入	
うち安全衛生経費		1 式	500,000		
入 札 額 (埼玉県電子入札共同システムへの入力金額)			11,150,000	左欄は必ず記入	

注1 入札参加者は、「左欄は必ず記入」となっている箇所に必要事項を記入してください。

注2 上記の入札額と埼玉県電子入札共同システムに入力した金額が異なる場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は無効となります。

注3 「左欄は必ず記入」となっている箇所が未記入の場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は原則無効となります。

別添1 (建設工事用記載例)

入札金額見積内訳書

工 事 名	舗装指定修繕工事(■■工区その2)	左欄は必ず記入
工事場所	主要地方道★★線／◎◎市△△地内	

入札参加者	工事名に誤りがある(正しくは■■工区その1) ⇒工事場所や直接工事費の内訳より、当該入札の内訳書であると判断できる場合は有効とすることができる。		
-------	---	--	--

入札額の内訳				
直接工事費	費目	数量単位	金額(円)	
	〇〇 工	1 式	1,000,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,100,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,200,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,300,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,400,000	左欄は必ず記入
	計 (A)		6,000,000	自動計算
	うち材料費	1 式	3,000,000	
	うち労務費	1 式	3,000,000	
間接工事費	共通仮設費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
	現場管理費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
	うち法定福利費の事業主負担額	1 式	500,000	
	うち建退共制度の掛け金	1 式	500,000	
	計 (B)	1 式	3,000,000	自動計算
工事原価 (C=A+B)			9,000,000	自動計算
一般管理費等 (D)		1 式	2,000,000	左欄は必ず記入
工事価格 (E=C+D)			11,000,000	左欄は必ず記入
うち安全衛生経費		1 式	500,000	
入札額 (埼玉県電子入札共同システムへの入力金額)			11,000,000	左欄は必ず記入

注1 入札参加者は、「左欄は必ず記入」となっている箇所に必要事項を記入してください。

注2 上記の入札額と埼玉県電子入札共同システムに入力した金額が異なる場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は無効となります。

注3 「左欄は必ず記入」となっている箇所が未記入の場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は原則無効となります。

別添1 (建設工事用記載例)

入札金額見積内訳書

工 事 名				左欄は必ず記入
工事場所				
入 札 参 加 者	所 在 地			左欄は必ず記入
	名称・商号			
	代表者名			
入札額の内訳				
直 接 工 事 費	費 目	数量単位	金 額 (円)	
	〇〇 工	1 式	1,000,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,100,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,200,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,300,000	左欄は必ず記入
	〇〇 工	1 式	1,400,000	左欄は必ず記入
計 (A)			6,000,000	自動計算
うち材料費		1 式	2,000,000	
うち労務費		1 式	3,000,000	
間 接 工 事 費	共通仮設費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
	現場管理費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
	うち法定福利費の事業主負担額	1 式	500,000	
	うち建退共制度の掛け金	1 式	500,000	
	計 (B)	1 式	3,000,000	自動計算
工事原価 (C=A+B)			9,000,000	自動計算
一般管理費等 (D)		1 式	2,000,900	左欄は必ず記入
工事価格 (E=C+D)			11,000,900	左欄は必ず記入
うち安全衛生経費		1 式	500,000	
入 札 額 (埼玉県電子入札共同システムへの入力金額)			11,000,000	左欄は必ず記入

注1 入札参加者は、「左欄は必ず記入」となっている箇所に必要事項を記入してください。

注2 上記の入札額と埼玉県電子入札共同システムに入力した金額が異なる場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は無効となります。

注3 「左欄は必ず記入」となっている箇所が未記入の場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は原則無効となります。

別添1 (建設工事用記載例)

入札金額見積内訳書

工 事 名			左欄は必ず記入		
工事場所					
入 札 参 加 者	所 在 地		左欄は必ず記入		
	名称・商号				
	代表者名				
入札額の内訳					
直 接 工 事 費	費目	数量単位	金額 (円)		
	〇〇 工	1 式	1,000,000	左欄は必ず記入	
	〇〇 工	1 式	1,100,000	左欄は必ず記入	
	〇〇 工	1 式	1,200,000	左欄は必ず記入	
	〇〇 工	1 式	1,300,000	左欄は必ず記入	
	〇〇 工	1 式	1,400,000	左欄は必ず記入	
	計 (A)			6,000,000	自動計算
	うち材料費	1 式			
	うち労務費	1 式			
	間 接 工 事 費	共通仮設費	1 式	1,500,000	左欄は必ず記入
現場管理費		1 式	1,500,000	左欄は必ず記入	
うち法定福利費の事業主負担額		1 式			
うち建退共制度の掛け金		1 式			
計 (B)		1 式	3,000,000	自動計算	
工事原価 (C=A+B)			9,000,000	自動計算	
一般管理費等 (D)		1 式	2,000,900	左欄は必ず記入	
工事価格 (E=C+D)			11,000,900	左欄は必ず記入	
うち安全衛生経費		1 式			
入 札 額 (埼玉県電子入札共同システムへの入力金額)			11,000,000	左欄は必ず記入	

注1 入札参加者は、「左欄は必ず記入」となっている箇所に必要事項を記入してください。

注2 上記の入札額と埼玉県電子入札共同システムに入力した金額が異なる場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は無効となります。

注3 「左欄は必ず記入」となっている箇所が未記入の場合は、各入札執行要綱の「不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札」として、当該入札は原則無効となります。